

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

( ) 月 日 曜日

# 大川の滝と白谷雲水峡

八幡小学校 六年 芝原 海璃

八月十六日に、東京からいよいよとあはれさんが屋久島にやってきました。

次の日には、早速あはれさんが帰省すると必ず行きたりという大川の滝へ行きました。

まず、栗生の海水浴場へ行き、少しおんたで遊び、夕しぐりにウミガメの赤ちゃんをみるのができました。初めてウミガメを見た同級生のいとは、

「すごい！。かあ！。元気！大きくなったあし。

」ととても喜んでいました。僕も、小さな体で精一杯がうは、ている姿に感動しました。

ウミガメがやってくる白い砂浜と青い海が、ぼくは大好きです。ウミガメはきれいな海と砂浜にしかまません。ウミガメを守るためにも海も浜もエビが落ちていたと拾いたいとおもって田んぼに。

その後、みんなで大川の滝に行きました。

No.

3 詩はどの行も三はんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

No. \_\_\_\_\_

大川の滝は、水が勢を降るとおぼさんは、  
「気持ちいいいい。」  
とさけんでいました。そして滝に近付き水し  
ぶきを流しながら、  
「マイナスナオソいっぱい。あー生き返る  
なーい。」  
と書いていました。前日までの台風で大雨が  
降っていたこともあり、この日の滝は、水が  
多く流れ、いつも以上の迫力でした。僕は、屋  
久島にある滝の中で大川の滝が一番好きです。  
なせなら迫力があって、こっぴりからです。  
この日の滝はいつも以上に、こっぴりかっこよくて、夢中  
で写真を撮りました。写真をとると、  
僕は水しぶきの飛んでくる岩の上に座って、  
おぼさんの隣に座って、  
「なんで大川の滝に絶対行きたかったの？」  
とたずねました。するとおぼさんは、  
「大川の滝はマイナスオンタッぷりて、ど  
んなに疲れていても疲れがふつとぶ位のよござ  
いパリースポットだよ。こんなパワースポット

(不許複製)

3 詩はどの行も三はんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
4 書き終わったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

トはながなかなりかうりまきチャーシューにきた  
かつたのよ。  
ときまていました。僕はおぼさくの顔を見て  
本当のよつきよりも元気があつてりるなあと  
思いました。いままでは、大きくなってかたおの  
としか思つてりなかつた。滝にすごいパーリーが  
あるんだなと思ひました。僕もパーリーを満た  
らにしたりときには大川の滝のマイナスイオ  
ンを浴びに来ようと思ひます。

海と滝に行つたので、次は山に行くことに

きめました。目的地は白谷雲水峡です。理由  
はアニメ映画を観て一度は行つてみたい場が  
のたからびです。苔むす木林を目指して出発しま  
した。最初に大きな岩を通りました。川があ  
りとても涼しかった。姉が  
つすずしい。

とさげんていしました。冷たい風が肌にあたつ  
てとても気持ちよかったです。ついに「ナンツ  
キフリ橋」に着きました。姉かつり橋をあた  
りながら橋がゆれるたびにはしりてました

No.

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
4 書き終つたら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

そこからは少しけあしり道のりでした。「く  
ぐり杉しき見たとき、はっと驚きました。驚  
り大理由は、想像以上に大きい杉の木だった  
からです。次に見たのはジカの宿です。小学  
5年生が名前をつけたりしています。喜ぶすきで  
沢山良真真かとれました。又ニメで見た映像  
と同じでとても感動しました。帰る道には三  
頭のジカに出会いました。人情をしてくいてす  
ごくありがたいかったです。

白谷雪水峡に登る前、ぼくは「しくじろう

かな」と思っていました。びさ、驚いてこ  
ろずいいるくいな景色が見られて、段々身にな  
てきました。

僕は、夏休みの初めて屋久島の素敵ふとこ  
ろを登りました。これからも自然豊かな屋  
久島に感謝しながらたくさつのごことを経験し  
たいからです。

No.

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
書き終わったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

